平成２８年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事　業　報　告　書

（平成２８年４月１日～平成２９年３月３１日）

第１　財団運営の総括

１　会議の開催状況

年月日	名　称	提出議案等
28.4.1	第１回理事会	○評議員会の招集について（書面決議）
	第１回評議員会	○理事の選任について（書面決議）
28.5.11	第２回理事会	○評議員会の招集について（書面決議）
	第２回評議員会	○評議員の選任について（書面決議）
28.6.2	第３回理事会	○平成27年度事業報告及び決算報告について ○公益目的支出計画実施報告書の提出について ○評議員会の招集について
28.6.8	第３回評議員会	○平成27年度事業報告及び決算報告について ○公益目的支出計画実施報告書の提出について
28.8.29	第４回理事会	○訴えの提訴について（書面決議） ○平成28年度収支補正予算（補正第１号）について（書面決議） ○評議員会の招集について（書面決議）
28.8.30	第４回評議員会	○訴えの提訴について ○平成28年度収支補正予算（補正第１号）について
	第１回評議員・理事・監事合同会議	○平成28年度自主事業実施状況等について ○市民芸術館の創造発信型事業について
28.12.21	第２回評議員・理事・監事合同会議	○公の施設の指定管理者の指定について ○平成29年度事業概要について
29.3.10	第５回理事会	○平成28年度収支補正予算（補正第２号）について ○平成29年度事業計画及び収支予算について ○評議員会の招集について ○評議員・理事・監事の改選について
29.3.28	第５回評議員会	○平成28年度収支補正予算（補正第２号）について ○平成29年度事業計画及び収支予算について ○評議員・理事・監事の改選について

２　所管業務

平成 28 年度は、松本市から指定管理者の指定を受けた、松本市美術館、松本市音楽文化ホール、まつもと市民芸術館、松本市波田文化センターにおいて、施設ごとに運営方針を定め、「多彩で特色ある自主事業」と「幅広い市民利用の促進」とのバランスを図りながら、管理運営の効率性を追求するとともに、市民に親しまれる館運営に努めてまいりました。

特に自主事業では、各施設の強みを活かした事業を実施すること、地元にゆかりのある出演者を招く事業を行うなどして、地域に近い活動を行いました。

３　厳しい財政状況への対応

依然として厳しい財政状況のなかで、国をはじめとする助成制度の積極的な活用により自主事業の財源確保を図るとともに、コスト意識を持ち効率的な事業運営による経費の縮減に努め、市民の文化芸術にふれる機会や活動の場を提供しました。

４　環境問題への対応

東日本大震災による原子力発電所の事故を教訓として、利用状況に応じた開館時間の短縮、冷暖房の適切な温度設定、不要な照明のこまめな消灯など省エネルギー推進に積極的に取り組みました。

松本市音楽文化ホールや波田文化センターでは、特定規模電気事業者とＰＰＳ（新電力）契約を結び太陽光や風力など自然エネルギー由来の電力を使用しています。

５　財団の機能強化

⑴　公益事業の推進

一般財団法人移行後、法で義務付けられている公益目的支出計画を着実に進め、公益の増進に努めました。

⑵　経営の健全化

公認会計士の支援を受け、会計・税務処理の適正化を図りました。また、研修により財団職員のコンプライアンス意識と経営能力の向上を図りました。

⑶　自主財源の確保

国や民間による助成制度の情報を収集し、自主事業の財源として積極的に取り込みました。

６　協働事業

「信州・まつもと大歌舞伎」を全９公演開催しました。市民活動委員会による関連事業では「観て楽しむ」だけでなく、サポーターや市民キャストなど「運営する側として楽しむ」仕組みをつくるとともに、次世代を担う子どもたちが歌舞伎を身近に触れ、日本の伝統文化を学ぶ機会を提供することができました。

7　職員体制

平成２９年３月３１日現在　　単位：人

区　分		部長級職名　人数	課長級職名　人数	係長級職名　人数	職名等　人数	計
事務局	市職	局長 1	次長 兼会計課長 1	次長補佐 兼会計係長 2	一般事務 1	5
	財団				一般事務 1	1
		1	1	2	2	6
美術館	市職		副館長 1	副館長補佐 3		4
	財団				一般事務 1 売店事務 1	2
	計		1	3	2	6
音　楽 文　化 ホール	市職			館長補佐 1	一般事務 1	2
	財団		館長 1		一般事務 4 企画営業 1 企画広報 1 オルガニスト 1	8
	計		1	1	8	10
市　民 芸術館	市職		事務長 1	係長 1		2
	財団	芸術監督 1 支配人 1		プロデューサー 1	一般事務 5 企画制作 6 舞台技術 7	21
	計	2	1	2	18	23
波田文化センター	財団		館長 （芸術館支配人兼務）	係長 （企画制作兼務） 1	一般事務 1 舞台技術 1	3
	計			1	2	3
合計	市職	1	3	7	2	13
	財団	2	1	2	30	35
	計	3	4	9	32	48

第２　各施設の事業報告

１　松本市美術館

活　動　の　概　要

１　活動方針

（１）　松本市美術館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組む。

（２）　美術館が目指す４つの柱〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指す。

（３）　まつもと市民芸術館・音楽文化ホール等の市の文化施設とも情報交換や協力をしながら管理運営を行う。

２　業務内容

基本方針に基づき、美術館の管理運営に関し、次の業務を行いました。

（１）　施設の管理

ア　施設警備

イ　施設、設備、備品の保守・維持管理・小規模修繕

ウ　施設清掃　など

（２）　施設の運営

ア　美術館の観覧及び利用の受付、許可、貸出

イ　受付・案内、監視業務

ウ　使用料の決定、徴収及び管理

エ　ミュージアムショップ運営　など

（３）　経営管理

ア　日報・定例報告

イ　施設管理経費の支払い

ウ　関係機関との連絡調整　など

３　サービスの向上と施設の利用促進

（１）　常にお客様の目線に立ったサービスを心がけ、利用してよかった、また来たいと思っていただけるよう、ホスピタリティの向上を図りました。

（２）　展覧会、イベント、市民ギャラリー等の関係情報について、広報、報道等への事前の周知をきめ細かく実施しました。

（３）　保守点検等、施設維持管理に必要な業務を休館日に行うなど効率的に実施し、安心・安全・安定・快適な提供ができるよう施設管理に努めました。

（４）　子育て家族にも気軽にアートを楽しんでもらうため「子育てパパママの美術鑑賞日」を24日設定し、延べ14人の託児を行いました。利用者からは「ゆっくり美術館を見ることが出来てとてもリフレッシュ出来ました」等の声を頂いております。

４　魅力あるミュージアムショップの運営

（１）　世界的な前衛芸術家の草間彌生などの所蔵品作家のグッズの充実に努め、他では手に入れにくい松本ならではの商品も取り揃え魅力あるショップづくりをしています。

　また、飯沼英樹展では、展覧会オリジナルグッズとして飯沼氏の協力を得て、ポストカード、チャームなどを作製、販売しました。

（２） 販売状況

期首在庫(a)	期中変動分				売上原価 (a+b)−(c+d+e)
	期中仕入(b)	期末在庫(c)	棚卸減耗損(d)	商品評価損(e)	
27,088,096 円	34,404,917 円	27,719,205 円	65,723 円	72,040 円	33,636,045 円
（期中販売額）48,553,510 円 ―（売上原価）33,636,045 円＝（商品販売益）14,917,465 円					

利　用　状　況【参考】

1　観覧者数　　開館日数316日（27年度316日）

区　分		28年度	27年度	前年度対比	
				増　減	対前年度比(%)
有　料	個　人	64,144人	72,950人	△8,806人	△12.1
	団　体	1,707人	961人	746人	77.6
	計	65,851人	73,911人	△8,060人	△10.9
無　料		20,694人	19,054人	1,640人	8.6
合　計		86,545人	92,965人	△6,420人	△6.9

2　施設利用者数

区　分	28年度	27年度	前年度対比	
			増　減	対前年度比(%)
市民ギャラリー	81,360人	87,913人	△6,553人	△7.5
講座・講演会・コンサート等	8,311人	8,402人	△91人	△1.1
合　計	89,671人	96,315人	△6,644人	△6.9

3　観覧料収入・使用料収入・物品売払収用料収入・物品売払収入

区　分	28年度	27年度	前年度対比	
			増　減	対前年度比(%)
観覧料収入	36,434,950円	24,899,710円	11,535,240円	46.3
使用料収入	7,479,200円	9,065,870円	△1,586,670円	△17.5
物品売払収入	48,553,510円	43,292,529円	5,260,981円	12.2
合　計	92,467,660円	77,258,109円	15,209,551円	19.7

４　企画展の開催状況

会場	展覧会名	会期	観覧人数
企画展示室	バーナード・リーチ展	平成28年4月21日（木） ～6月5日（日）	目標　11,000人 実績　11,583人
	山の日制定記念 遥かなる山－発見された風景美	7月16日(土) ～9月4日（日）	目標　15,000人 実績　10,132人
	飯沼英樹展	9月17日(土) ～11月27日(日)	目標　12,000人 実績　11,519人
	70歳以上の公募による公募展 第７回老いるほど若くなる	平成29年3月4日(土) ～4月9日(日)	目標　4,500人 実績　5,014人
２　８　年　度　合　計			目標　42,500人 実績　38,248人

２　松本市音楽文化ホール

活　動　の　概　要

１　基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞等のための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ管理・運営を行いました。

（１）　音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供するとともに、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じ、音楽技術の向上を図ります。

（２）　松本市出身者や松本市在住で、活躍している演奏家による演奏会やセミナーを企画するとともに、市民や音楽団体との共催事業を通じて市民の音楽文化の向上を図ります。

（３）　県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会等を開催し、特色ある事業を展開します。

（４）　地域に密着した施設として、音楽愛好団体等への活動支援や、積極的な育成援助を行います。

２　重点事業

（１）　パイプオルガン事業の充実

パイプオルガン及び専属オルガニストを擁するホールとしての特色を生かした、サクソフォン四重奏団や聖歌隊との共演コンサートを開催し、新たなオルガン愛好者を取り込むことができました。

（２）　子ども向け事業の充実

次代を担う子どもたちに音楽（活動・鑑賞）への興味を持ってもらうため、パイプオルガンとダンスの共演プログラムや、パイプオルガンとおはなしのコラボレーションプログラムを開催しました。

また、市民活動団体（フリマネット信州）とホール全体を使ったイベント「アートマーケット」を協働企画し、その中の「ぽっぽぽオルガン」ではホールを満席にするほどのお客様をお迎えすることができました。

（３）　ハーモニーメイト（友の会）創立30周年記念事業の開催

国内屈指のオーケストラ「新日本フィルハーモニー交響楽団」をハーモニーメイトの共催で招聘し、ハーモニーメイト設立３０周年を盛り上げました。

３　自主事業

（１）　総　括

ホール主催・共催事業全体については、合計26事業を実施しました。鑑賞・参加人員の合計は22,766人で、目標とした21,475人に対し、1,291人、率で6.0％の増となりました。

また、自主事業収入（入場料）は24,007,500円で、目標とした27,260,000円に対し、3,252,500円、率で11.9％の減となりました。

（２）　内　訳

ア　招聘事業については、５事業を実施し、鑑賞者数は2,402人となりました。

イ　自主企画事業については、経常自主企画事業及び特別自主企画事業をあわせ、計10事業を実施し、鑑賞者数は4,749人となりました。

ウ　共催事業については、セイジ・オザワ松本フェスティバル「ふれあいコンサートⅠ・Ⅱ」を含め、５事業を実施し、鑑賞者数等は14,841人となりました。

エ　セミナー事業については、６事業を実施し、鑑賞者・参加者合計は774人となりました。

4　貸館事業

（1）　貸館事業においては、年間利用者総数は 74,993 人で、目標とした 100,000 人に対し、25,007 人、率で 25.0%の減となりました。

また、施設等利用料金収入は 18,352,025 円で、目標額の 15,650,000 円に対し、2,702,025 円、率で 17.6%の増となりました。

（2）　音楽団体活動支援については、音楽愛好団体等の活動の積極的な支援として「登録団体制度」に基づく施設利用料の一部減免を行い、減免額の総額は 2,989,880 円となりました。

なお、年度末における登録団体数は 58 団体で、対前年度末 3 団体増となりました。

（3）　また、ホール友の会組織「ハーモニーメイト」に対する事業協力及び育成援助を行いました。

〇育成援助（ハーモニーメイト事務局事務の取扱い）

平成29年3月31日現在会員数：1,684人（対前年度比　434人減）

個人会員：　274人（対前年度比　84人減）
家族会員：1,272人、383家族（対前年度比　340人減）
団体会員：　138人、14団体（対前年度比　10人減）
賛助会員：11団体（対前年度比　同値）

5　施設の利用促進

（1）　施設管理業務に関しては、利用者懇談会等で出された意見を参考に、より利用しやすい施設として改善を図りました。

（2）　自主事業演奏会時に実施している来場者アンケートを集約し、自主事業の企画の参考としました。

（3）　自主事業の広報については、情報紙「ハーモニー」、音楽情報誌、新聞広告、新聞記事への掲載依頼の他、ホール公式ホームページへの掲載、フェイスブックの活用により積極的に行いました。また、新たにツイッターを開始し、複合的に情報を発信しました。

（4）　貸館事業等については、日々の清掃業務、設備管理業務等十分に行い、施設を最良の状態に保つよう努めました。

（5）　職員は常に利用者の立場に立ち、親切でていねいな対応に努めました。

主　な　事　業　内　容

1　招聘事業（経常招聘事業）

区　分	目　標	実　績	達成（%）
事業収入（千円）	18,050	15,203	84.2
参加人員（人）	2,550	2,402	94.2

番号	事　業　名（公演名等）	実施日	鑑賞者数（人）	支出（千円）	収入（千円）	
					事業収入	市委託料等
1	チック・コリア　ピアノ・ソロ・コンサート	5/25	676	9,374	5,999	3,375
2	ヒラリー・ハーン　ヴァイオリン・リサイタル	6/5	450	5,385	3,122	2,263
3	レ・ヴァン・フランセ	10/29	615	4,478	2,860	1,618
4	カメラータ・ザルツブルク	11/25	351	7,567	2,508	5,059
5	佐藤俊介、小菅優、Ｌ．コッポラ　トリオ	2/12	310	1,717	714	1,003
合　　計			2,402	28,521	15,203	13,318

2　自主企画事業

（1）　経常自主企画事業

区　分	目　標	実　績	達成率（%）
事業収入（千円）	1,560	1,738	111.4
参加人員（人）	2,050	3,328	162.3

番号	事　業　名（公演名等）	実施日	鑑賞者数（人）	支出（千円）	収入（千円）	
					事業収入	市委託料等
1	オルガン・コンサートシリーズ（サクソフォン）	4/24	390	1,184	541	643
2	桒形亜樹子チェンバロリサイタル	5/22	150	364	182	182
3	夜オルガンＶｏｌ．４	7/1	275	10	104	△94
4	ＴＨＥ鍵盤フェスタ！	7/31	550	635	0	635
5	オルガン・コンサートシリーズ（聖歌隊）	11/6	440	1,337	709	628
6	夜オルガンＶｏｌ．５	12/16	443	62	126	△64
7	こどもオルガン劇場「ぽっぽぽオルガン」	3/19	1,080	612	76	536
合　　計			3,328	4,204	1,738	2,466

（２）　特別自主企画事業

区　分	目　標	実　績	達成率（%）
事業収入（千円）	6,880	5,799	84.3
参加人員（人）	1,450	1,421	98.0

番号	事　業　名（公演名等）	実施日	鑑賞者数（人）	支出（千円）	収入（千円）	
					事業収入	市委託料等
1	桐山建志・大塚直哉　バロック音楽の楽しみ	7/10	310	707	516	191
2	福田進一・工藤重典　デュオ・リサイタル	9/18	451	1,201	814	387
3	新日本フィルハーモニー交響楽団	10/1	660	7,867	4,469	0
合　計			1,421	9,775	5,799	578

※負担金収入3,398千円を「新日本フィルハーモニー交響楽団」へ充てたため、市委託料は発生しない。

３　共催事業

区　分	目　標	実　績	達成率（%）
事業収入	－	－	－
参加人員（人）	15,000	14,841	98.9

番号	事　業　名（公演名等）	実施日	鑑賞者数（人）	支出（千円）	収入（千円）	
					事業収入	市委託料等
1	第37回　新人演奏会	4/17	100	0	0	0
2	第30回　島内灯籠まつり	8/7	13,000	0	0	0
3	ＯＭＦふれあいコンサートⅠ	8/20	673	0	0	0
4	ＯＭＦふれあいコンサートⅡ	8/27	668	0	0	0
5	第31回　ニューイヤー松本ボーカルフェスティバル	3/26	400	0	0	0
合　計			14,841	0	0	0

4　セミナー事業

区　分	目　標	実　績	達成率（%）
事業収入（千円）	770	1,267	164.4
参加人員（人）	425	774	164.2

番号	事　業　名（公演名等）	実施日	参加者数（人）	支出（千円）	収入（千円）	
					事業収入	市委託料等
1	第15期　チェンバロ講習会（全５回）	6月～11月	87	668	153	515
2	オルガン講習会	6～8月 2～3月	71	0	159	△159
3	管楽器＆指揮法クリニック	10/10	308	703	0	703
4	弦楽合奏	2/18	14	50	0	50
5	オルガンレッスン	通　年	146	0	955	△955
6	オルガンレッスン修了コンサート	3/12	148	0	0	0
合　　計			774	1,421	1,267	154

◇　自主事業収入（入場料収入）

区　　分	28年度（円）	27年度（円）	前年度対比	
			増　減（円）	対前年度比（%）
招聘事業	15,203,000	17,785,000	△2,582,000	△14.5
自主企画事業	7,537,500	11,326,500	△3,789,000	△33.5
セミナー事業	1,267,000	1,602,000	△335,000	△20.9
合　　計	24,007,500	30,713,500	△6,706,000	△21.8

施　設　利　用　状　況

1　施設別利用状況

区　　分		28年度	27年度	前年度対比	
				増　減	対前年度比（%）
メインホール					
	利用日数（日）	277	287	△10	△3.5
	利用可能日数(日)	297	297	0	0
	利用率（%）	93.3	96.6	△3.3ﾎﾟｲﾝﾄ	
小ホール					
	利用日数（日）	286	280	6	2.1
	利用可能日数（日）	297	296	1	0.3
	利用率（%）	96.3	94.6	1.7ﾎﾟｲﾝﾄ	
練習室					
	利用日数（日）	269	277	△8	△2.9
	利用可能日数（日）	296	297	△1	△0.3
	利用率（%）	90.9	93.3	△2.4ﾎﾟｲﾝﾄ	

2　施設別利用者数

区　　分	28年度（人）	27年度（人）	前年度対比	
			増　減（人）	対前年度比(%)
メインホール	50,340	62,545	△12,205	△19.5
小ホール	14,029	15,990	△1,961	△12.3
練習室	10,624	11,138	△514	△4.6
合　　計	74,993	89,673	△14,680	△16.4

3　施設等利用料金収入

区　　分	28年度（円）	27年度（円）	前年度対比	
			増　減（円）	対前年度比(%)
ホール使用料	5,990,605	5,444,870	545,735	10.0
練習室使用料	2,492,830	2,582,730	△89,900	△3.5
設備使用料	9,868,590	9,063,920	804,670	8.9
合　　計	18,352,025	17,091,520	1,260,505	7.4

３　まつもと市民芸術館

活　動　の　概　要

１　基本目標

「まつもと市民芸術館管理運営方針」に基づき、市民に以下に掲げる「場」として提供できるよう貸館事業及び自主事業を展開しました。

（１）　世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場
（２）　市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場
（３）　市民が近づきやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場
（４）　これらを通じて、市民が交流する場

２　自主事業

（１）　創造・発信型事業

平成26年度に上演した串田和美芸術監督演出・出演の「Ｋ．テンペスト」を、新しい演出により、芸術館で再上演（６公演）したほか、初の試みとして、長野県文化振興事業団との連携により、県下３会場で４公演を上演しました。また、ＴＣアルププロジェクトとして手塚治虫の問題作「人間ども集まれ」を上演するとともに、「遥かなるブルレスケ」をフライングシアターの新作として松本だけでなく、上田市でも実施しました。更に、新たな取り組みとしてアジアのアーティストを招聘してダンスのレジデント公演を実施する等、芸術館からの創造・発信を多角的に行ないました。

（２）　鑑賞招聘型事業

芸術館の様々な空間を活用し、現代演劇、古典芸能、ダンス、音楽コンサート等様々なジャンルの公演をバランスよく上演しました。白井晃、長塚圭史による実験的演劇作品「夢の劇」や子供から大人まで楽しめる「ひつじ」の再演、定番となりつつある中村屋兄弟の歌舞伎舞踊「錦秋特別公演」、「道山・ＳＩＮＳＫＥ」コンサートに加え、茂山千五郎家若手による「花形狂言」など、様々な年齢層をターゲットとしたラインナップを揃え、要望に応えました。

（３）　教育普及、育成、市民参加型事業

演劇工場は、加藤直工場長と串田和美芸術監督監修により5期生が演劇体験を行ないました。熟練してきた継続参加者を中心にチャオ！バンビーニへの参加や、アウトリーチなど活動の幅をひろげました。

（４）　観光・地域活性化協働事業

『まつもと街なか大道芸』とともに夏の風物詩ともなっている『信州・まつもと大歌舞伎』は国際シンポジウム、地歌舞伎、若手の『木ノ下歌舞伎』など関連事業を多数行い、街の賑わいを創出するとともに、古典芸能を幅広く学ぶ場を提供しました。

（５）　ＯＭＦ関連事業

ＳＫＦから名称変更したセイジ・オザワ 松本フェスティバル（ＯＭＦ）実行委員会との共催により、子どものためのオペラを開催し、子供たちにはじめてオペラを体験する機会を創出するとともに、公演会場として人的・物的支援・協力を行いました。

個別の事業の詳細については、「主な事業内容」を参照ください。

３　施設の利用促進

（１）　利用者の興行、催事が成功するよう、専門的な立場から積極的に支援を行いました。
（２）　一般利用では、午前８時30分から午後10時までが原則的な開館時間ですが、繰り上げや延長など利用者ニーズに応えるべく柔軟に対応しました。

その一方で、これまでと同様、利用予定のない日には閉館時間を午後８時に切り上げるなど省エネに対する取組みも継続して実施しました。

（３）　貸館利用者の使い勝手にも配慮した内容に更新した公式ホームページをとおして、会議・研修等も行える施設であることを周知しました。

（4）　松本観光コンベンション協会など関連団体と連携し、学会やイベント事業等の利用も推進しました。

4　協働推進事業

ボランティアを芸術館のパートナーとして位置付け、来館者サービスの向上を図るため、接遇能力向上のためのフロントスタッフ研修や、実際の公演現場を活用した実地研修他施設の視察等を実施しました。また、芸術鑑賞などの育成援助を推進しました。

5　その他

シアターパークの活用としては、新たに設けられた「山の日」記念イベントの展示・中継コーナーとして提供された他、結婚式場としても利用されました。

又、トップガーデンは主催公演の「羊」の開催、歌舞伎公演における「そば振る舞い」の場として、役者と市民が交流する等、より多くの方にとって親しみやすい施設となるよう努めました。

主　な　事　業　内　容

1　自主事業

（1）　自主事業収入

区　分		目　標	実　績	達成率（%）
事業収入（千円）	入場料収入	５８，０２０	５９，１０１	１０１．８
	国庫補助金収入	４８，０００	５１，２１２	１０６．６
	民間補助金収入	９，６４０	１２，９１１	１３３．９
	負担金収入	２８，９９０	３２，１６６	１１０．９
	計	１４４，６５０	１５５，３９０	１０７．４
集　客　数（人）		４１，５３０	５２，２６１	１２５．８

※集客数の目標、実績値に信州・まつもと大歌舞伎の「登城行列・市民ふれあい座」は含まない。

（2）　個別事業

ア　創造・発信型事業

実施時期	公演等の名称	公演数	集客数（人）	支出（千円）	収入（千円）	
					事業収入	市補助金
4/3-5/1	「海の風景」県外公演	17	4,200	268	3,670	△3,402
8/27, 28, 8/31-9/4	フライングシアター「遥かなるブルレスケ」	7	975	29,396	15,379	14,017
9/22	Cross Transit	1	135	4,228	3,337	891
10/20-22	TCアルプ「人間ども集まれ！」	3	387	14,599	7,511	7,088
2/24-28	K.テンペスト 2017	6	865	40,555	38,201	2,354
計　（5事業）		34	6,562	89,046	68,098	20,948

イ　鑑賞招聘型事業

実施時期	公演等の名称	公演数	集客数（人）	支出（千円）	収入（千円）	
					事業収入	市補助金
5/3	劇団コープス「ひつじ」	2	505	2,143	900	1,243
5/4	「キャンプしましょう！おひめさま」	1	556			
5/4, 5	夢の劇ードリームプレイー	2	785	14,281	9,559	4,722
5/8	藤原道山＆SINSKEコンサート	1	249	1,849	1,104	745
6/17	ルパンジャズライブ（共催）	1	1,230	0	242	△242
7/14-16	木ノ下歌舞伎「勧進帳」（歌舞伎関連事業）	3	642	10,814	7,987	2,827
9/16	シアタープノンペン（CrossTransit関連）（共催）	1	34	0	0	0
11/16	錦秋別公演 2016	2	2,372	12,390	18,043	△5,653
11/19, 20	かもめ	2	2,080	8,395	13,442	△5,047
12/11, 12	キネマと恋人	3	1,080	11,107	7,082	4,025
1/13	立川志の輔落語（共催）	1	1,026	0	83	△83

1/29	花形狂言 2017	1	649	2, 225	1, 749	476
2/10, 11	ﾐｭｰｼﾞｶﾙ「天使にラブソングを」(共催)	2	2, 520	1	1, 243	△1, 242
3/5	ピーピング・トム「Vader」	1	211	3, 634	562	3, 072
3/22	石丸幹二＆つのだたかしコンサート	1	217	1, 921	1, 014	907
3/26	きゃりーぱみゅぱみゅコンサート(共催)	1	1, 600	1	96	△95
計　(16事業)		25	15, 756	68, 761	63, 106	5, 655

ウ　教育普及、育成、市民参加型事業

種別	実施時期	公演等の名称	公演数	集客数(人)	支出(千円)	収入(千円)	
						事業収入	市補助金
一般市民等を対象にしたワークショップ	5/7	藤原道山＆SINSKE 尺八・マリンバ WS	1	7	0	0	0
	7/2	レクチャー「歌舞伎ナビ」(歌舞伎関連事業)	1	83	0	0	0
	7/16, 17	国際シンポジウム(歌舞伎関連事業)	2	122	1, 515	1, 500	15
	5/23-28,7/3-8,18-26,1/15-31	シアターキャンプ 2016(演劇 WS)	4	378	4, 582	2, 260	2, 322
	10/9	シアターキャンプ「人間ども集まれ！」プレイベント	1	62			
	11/5	まつもと演劇工場 オープンファクトリー	1	13	0	0	0
	1/14	信州大学プロフェッショナルゼミ(共催)	1	26	0	0	0
	2/4	レクチャー「シェイクスピアを楽しむ」(K.テンペスト関連)	1	53	0	0	0
	3/13, 14	岩下徹ダンスWS(共催)	2	23	0	0	0
	計　(9事業)		14	767	6, 097	3, 760	2, 337
児童・生徒等を対象とした教育・普及事業	6/11,12, 1/10	高校演劇講習会(春季・冬季)	2	292	199	216	△17
	9/16-18	高校演劇中信地区大会	1	788			
	9/6-9	OMF オペラ「子どもと魔法」(共催)	6	8, 229	6, 500	111	6, 389
	11/23	チャオ! バンビーニ(WS 含む)	1	1, 800	13, 901	8, 873	5, 028
	3/20	子供たちの映画祭(共催)	2	2, 100	1	43	△42
	計　(5事業)		12	13, 209	20, 601	9, 243	11, 358
市民参加事業・その他	9/23-3/20	シアターファクトリー	1	1, 500	17, 522	12, 391	5, 131
	11/26,12/10, 12/11,17	まつもと演劇工場「風の劇場」(アウチリーチ)	4	315			
	2/25	宮沢賢治ビブリオバトル(演劇工場連動企画)	1	15			
	3/18-20	公演「ケンジ旅行記」	3	406			

	12/10,11	アーキタンツ(共催)	1	83	0	0	0
	1/21	社交ダンス新春大舞踏会 in まつもと(共催)	1	319	0	0	0
	4/1-3/31	市民オペラ	―	―	20,002	0	20,002
	3/29-31	バックステージツアー	4	91	6	7	△1
	計　(8事業)		15	2,729	37,530	12,398	25,132
その他	通年	学芸費 (「幕があがる」等)	―	―	30,115	15,251	14,864
計　(22事業)			41	16,705	94,343	40,652	53,691

エ　観光・地域活性化協働事業

実施時期	公演等の名称		公演数	集客数 (人)	支出 (千円)	収入 (千円)	
						事業収入	市補助金
7/10-17	第5回信州まつもと大歌舞伎	歌舞伎公演「四谷怪談」	9	12,438	20,030	324	19,706
		登城行列・市民ふれあい座	1	48,000			
		学びの事業・WS	―	800			
計　(1事業)			10	61,238	20,030	324	19,706
ア～エ合計(44事業)			110	100,261	272,180	172,180	100,000

2　貸館事業

区　分	28年度 (件)	27年度 (件)	前年度対比	
			増減(件)	対前年度比(%)
市主催等	26	33	△7	△21.2
一般利用	383	358	25	7.0
合　計	409	391	18	4.6

3　その他の取組み

（1）　広報ニューズレター「幕があがる」　４回発行
（2）　市広報「松本市芸術カレンダー（全戸配布)」　２回発行
（3）　スケジュールガイド「ＭＰＡＣ」　６回発行
（4）　ダイレクトメール会員の登録と情報提供
　平成28年度末現在、登録会員数　1,600人（平成27年度末　1,643人）
（5）　メールマガジンの発行
　メールマガジン　20回発行
　平成28年度末現在、登録会員数　7,362人（平成27年度末　5,449人）
（6）　ホールボランティアの登録と公演協力
　平成28年度末現在、活動者数　67人（平成27年度末　56人）
　ア　自主公演に対するボランティア
　　チケットもぎり、チラシ配り、クローク、座席案内等
　　参加公演数　15演目33公演　延べ参加人数244人
　イ　ボランティアと職員が一同にフロントスタッフ研修を開催
　　ボランティア参加者数　32人

ウ　まつもと市民芸術館自主事業の事前見学会などの公演見学
　　ボランティア参加者数　37人
エ　ボランティア活動視察研修（可児市文化創造センター）
　　ボランティア参加者数　24人　　職員2人
（７）　シアターパーク等の活用
ア　「山の日」記念イベントの展示・中継コーナー等
イ　自主事業に関連したアフタートークなどの開催
ウ　シアターパークやトップガーデンの貸館への協力（結婚式場の実施）

施　設　利　用　状　況

1　施設別利用状況

施設	年度	利用日数（日）				利用可能日数（日）	利用率（%）
		自主事業	貸館		計		
			市主催	一般			
主ホール	28 年度	84	17	129	230	289	79.6
	27 年度	99	49	117	265	299	88.6
	比　較	△15	△32	12	△35	△10	△9.0
小ホール	28 年度	67	20	138	225	286	78.7
	27 年度	65	42	130	237	311	76.2
	比　較	2	△22	8	△12	△25	2.5
オープンスタジオ	28 年度	144	15	64	223	323	69.0
	27 年度	140	43	45	228	327	69.7
	比　較	4	△28	19	△5	△4	△0.7
スタジオ２	28 年度	166	5	51	222	323	68.7
	27 年度	110	41	46	197	322	61.2
	比　較	56	△36	5	25	1	7.5
スタジオ３	28 年度	60	9	89	158	321	49.2
	27 年度	61	43	79	183	324	56.5
	比　較	△1	△34	10	△25	△3	△7.3
スタジオ４	28 年度	56	9	90	155	319	48.6
	27 年度	58	40	55	153	327	46.8
	比　較	△2	△31	35	2	△8	1.8
Ｍ２会議室	28 年度	67	15	101	183	325	56.3
	27 年度	29	40	97	166	327	50.8
	比　較	38	△25	4	17	△2	5.5

２　来館者数

区　分			28年度		27年度		前年度対比		
							増　減		対前年度比
			回数	人数（人）	回数	人数（人）	回数	人数（人）	（%）
主ホール	音楽系	クラシック	5	43,532	11	48,730	△6	△5,198	△10.7
		ポピュラー	27		30		△3		
		邦楽	0		0		－		
		その他	3		3		－		
		オペラ	8		11		△3		
	芸能系	ミュージカル	2	45,288	7	35,422	△5	9,866	27.9
		演劇	54		44		10		
		古典芸能	15		6		9		
	舞踊系	バレエ、日舞、ダンス	12	6,144	14	8,667	△2	△2,523	△29.1
	その他	大会、集会、収録、リハーサル	74	46,216	56	27,700	18	18,516	66.8
	計		200	141,180	182	120,519	18	20,661	17.1
小ホール	音楽系	クラシック	28	5,483	19	6,388	9	△905	△14.2
		ポピュラー	23		25		△2		
		邦楽	3		3		－		
		その他	1		1		－		
	芸能系	演劇	19	3,029	7	1,933	12	1,096	56.7
		古典芸能他	2		4		△2		
	舞踊系	バレエ、日舞、ダンス	4	824	1	288	3	536	186.1
	その他	大会、集会、収録、リハーサル	123	8,765	101	7,717	22	1,048	13.6
	計		203	18,101	161	16,326	42	1,775	10.9
スタジオ・会議室			－	17,186	－	15,048	－	2,138	14.2
見学他			－	74,642	－	52,426	－	22,216	42.4
合計			403	251,109	343	204,319	60	46,790	22.9

３　利用料金収入・自主事業収入・補助金等収入・負担金収入

区　　分	28年度（円）	27年度（円）	前年度対比	
			増　減（円）	対前年度比（%）
利用料金収入	39,645,480	31,305,950	8,339,530	26.6
自主事業収入	59,101,525	76,216,081	△17,114,556	△22.5
補助金等収入	64,123,000	65,692,434	△1,569,434	△2.4
負担金収入	32,166,042	1,327,577	30,838,465	2322.9
合　　計	195,036,047	174,542,042	20,494,005	11.7

※補助金等収入には松本市自主事業補助金（１億円）は含まない。

４　松本市波田文化センター

活　動　の　概　要

１　基本目標

西部地域の拠点として以下に掲げる28年度の基本目標に基づき、貸館、自主事業共に多くの市民の皆さんに利用・参加いただけるよう、スタッフ一同で工夫し努力して参りました。

（１）　多目的な利用を図れる特徴を活かした小ホールの利用
（２）　地域の団体や学校へのアウトリーチなどを含めた多角的な自主事業の展開
（３）　音楽愛好団体等の活動の支援を行った貸館事業

２　自主事業

（１）　鑑賞型事業

ア　「波田少年少女合唱団　アンサンブルコンサート2016」

恒例となっており、今年も立見を含む満席のお客様をお迎えしました。合唱とは違ったアンサンブル（少人数での歌唱）で様々な曲目でお楽しみいただきました。小学生から大学生まで、合唱団の成長も含めて温かく見守っていただいているコンサートです。

イ　「くるくるトンデモ★サーカスDX」

松本在住の金井圭介さんを中心としたサーカスパフォーマンスで、会場は多くの親子の歓声と笑顔でいっぱいになりました。また、松本市立病院へのアウトリーチも行い、予防接種に来院していた子ども達や入院患者さんにライブの楽しさを届けました。終演後にはワークショップとしてホールで様々なジャグリングを体験していただき、大人も子どもも夢中になって参加してました。

ウ　「辛島美登里トーク＆ライブ」

マイクやスピーカーを利用したアクトホール本来の特徴を活かしたコンサートでした。辛島さんと同年代のお客さまが多く、曲間のトークも含めて十分にお楽しみいただいたコンサートになりました。予想外に遠方の方（香川、大阪、新潟など）も来場いただき当ホールを知っていただく良い機会にもなりました。

（２）　市民参加型事業

ア　「第17回ピアノカーニバル」

ベーゼンドルファーに触れられる機会として、公募により２４組の方々に出演していただきました。出演者には記念に残るステージになるように演奏のDVDをプレゼントしました。聴衆の方にも無料コンサートとして楽しんでいただけるように、公演に司会者をたてるなどの工夫しました。

イ　「来て、観て、笑って、弾いてみて！ベーゼンドルファー」

「ピアノカーニバル」よりも気楽にベーゼンドルファーを弾きたいという声に応えて、観客を入れない中で、自由にピアノを弾いていただく企画です。希望者が多かったことから、時間を延長して予定人数を増やしました。次は「ピアノカーニバル」や他の自主事業にも足を運んでいただけるようなステップになったと思います。

（３）共催事業

ア　「第2回アクトマルシェ」･･･ホール入口の回廊での農産物直売

波田公民館主催の「ふれあいコンサート」の一環として一昨年好評だったアクトマルシェを開催しました。地元の農家の方々とのつながりやコンサートの賑わい作りなど、新しい形での共催となりました。

イ　「ビッグノイズコンサート」

開館当初から協力していただいている地元の団体との共催コンサートを2公演行いました。春には今まで未使用だった野外ステージで、音量などに配慮したアコースティッ

クのコンサートで青空の下で気軽に音楽を楽しんでいただきました。秋は小諸高校音楽科の卒業生のコンサートを行い、若者の発表の場としても喜んでいただきました。

3　施設の利用促進

貸館に関しては、利用者と事前の丁寧な打ち合わせを必ず行い、催し物が円滑に進むようにサポートし、次回の利用にも繋がるよう、利用者目線での対応を心がけました。また、内部での情報共有を徹底し、職員によって認識や対応の差異がないようコミュニケーションを図りました。

（1）利用者アンケート

職員の対応から使用上の感想などアンケートを行い、すぐに改善できるものは対応し、時間を要する問題点は今後の課題として取り組んでいきます。

（2）イベントガイド

自主事業だけでなく、貸館事業でも出来るだけ多くのお客様に来場いただき盛会にするために、イベントガイドを年3回発行し波田地区に全戸配布しました。地域のホールとして足を運んでいただけるように引き続き努力して参ります。

主　な　事　業　内　容

1　自主事業

公演日	公演等の名称	公演数	集客数(人)	支出(千円)	収入(千円)	
					事業収入	市委託料等
6/5	波田少年少女合唱団 アンサンブルコンサート 2016	1	283 (111%)	57	140	△83
9/17	第17 回ピアノカーニバル	1	出演 24 組 観客 125	113	48	65
11/5	くるくるトンデモ★サーカス DX	1	214 (82%)	727	237	490
2/12	来て、観て、笑って、弾いてみて！ ベーゼンドルファー2017	1	参加者 21 組 34 人	4	11	△7
3/10	辛島美登里 トーク&ライブ	1	241 (96%)	1,619	901	718
	事業共通			111	0	111
計			897	2,631	1,337	1,294

※(%)は満席に対しての入場率

■ワークショップ、アウトリーチおよび共催事業として、以下の人数が参加しました。

日 時	内 容	場 所	参加人数(人)
5/28	ビッグノイズ 野外ライブ	波田文化センター 野外ステージ	65
8/28	アクトマルシェ	波田文化センター 入口回廊	60
10/26	松本市立病院 アウトリーチ	松本市立病院 小児科外来	43
11/5	ジャグリングワークショップ	波田文化センター ロビー	64
1/21	小諸高校卒業生によるコンサート	波田文化センター アクトホール	126
合 計			358

2 貸館事業

区 分	28 年度 (件)	27 年度 (件)	前年度対比		
			増 減	対前年度比(%)	
一般利用	418	537	△119	△22.2	※
減免利用	115	93	22	23.7	
全額減免利用	93	110	△17	△15.5	
合 計	626	740	△114	△15.4	

※常連だったインド舞踊、ダンス練習の団体(月 10 回程度が無くなったことが主な要因)

施　設　の　利　用　状　況

1　施設別利用状況

施設	年度	利用日数（日）	利用可能日数(日)	利用率（%）
アクトホール	28年度	107	285	37.5%
	27年度	93	286	32.5%
	比較	14	△ 1	5.0%
練習室	28年度	156	285	54.7%
	27年度	160	286	55.9%
	比較	△ 4	△ 1	-1.2%
第1会議室	28年度	65	285	22.8%
	27年度	57	286	19.9%
	比較	8	△ 1	2.9%
第2会議室	28年度	48	285	16.8%
	27年度	79	286	27.6%
	比較	△ 31	△ 1	-10.8%
第3会議室	28年度	159	285	55.8%
	27年度	183	286	64.0%
	比較	△ 24	△ 1	-8.2%
ハイビジョンシアター	28年度	14	285	4.9%
	27年度	11	286	3.8%
	比較	3	△ 1	1.1%
展望室	28年度	3	285	1.1%
	27年度	7	286	2.4%
	比較	△ 4	△ 1	-1.4%
ギャラリー	28年度	14	285	4.9%
	27年度	7	286	2.4%
	比較	7	△ 1	2.5%

２ 来客者数

施設	28年度		27年度		前年度対比 増減	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)
アクトホール	117	10,231	114	8,987	3	1,244
練習室	178	2,223	240	2,033	△ 62	190
第1会議室	67	867	61	696	6	171
第2会議室	49	549	87	939	△ 38	△ 390
第3会議室	161	2,151	218	2,730	△ 57	△ 579
ハイビジョンシアター	14	209	12	250	2	△ 41
展望室	3	10	8	67	△ 5	△ 57
ギャラリー		320		369	0	△ 49
合計	589	16,560	740	16,071		